

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

平成 19 年度

施設評価調書

施設の名称.....吉 佐 美 運動公園

所管担当課.....下田市教育委員会
生涯学習課

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立吉佐美運動公園		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係			
3 所在地	下田市1900番地の1		4 設置年月	昭和49年1月			
5 総合計画の 位置付け	人財づくり		自ら学ぶ歴史のまちづくり	スポーツ			
	施策体系		スポーツ施設の整備・充実	既存施設の整備・充実			
	主要事業		吉佐美運動公園整備・運営事業	吉佐美運動公園整備事業 吉佐美運動公園運営事業			
6 設置目的	市民の健康の増進と体育の向上及びレクリエーションの振興を図り、かつ、市民の健全な憩いの場として活用する。						
7 設置根拠	下田市立吉佐美運動公園の設置及び管理に関する条例						
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 全体面積 17,853.83 m ² 運動広場 9,663.35 m ²					
		駐車場 50台程度 トイレ男女障害者					
		運動公園 野球場レフト側110m、センター80m、ライト側90m					
	実施事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 昭和49年から、国有地を占用し「下田市立総合グラウンド」として整備し、以後、市内屋外体育施設の中核をなす役割を担ってきた。 平成15年度に国有地の1/3を払い下げ、2/3を無償貸与という契約を締結し、その条件として平成20年3月11日を期限に運動公園の整備を進めている。(整備事業概要-トイレ兼器具庫改築、防球ネット設置、駐車場整備) 平成16年度から、名称を「下田市立吉佐美運動公園」と改め、体育施設と公園施設の性質を併せ持つ社会体育施設として活用を図っている。 					
	料金体系	料金区分	<ul style="list-style-type: none"> 運動公園使用料 				
		主な料金	利用時間区分		午前	午後	1日
			利用者区分		8:30~12:30	12:30~17:00	8:30~17:00
			一般	市内	1,400円	1,600円	3,000円
				市外	2,800円	3,200円	6,000円
	高校生以下	市内	700円	800円	1,500円		
市外		1,400円	1,600円	3,000円			
減免内容	<p>(使用料の減免)</p> <p>第9条 市長は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。</p> <p>2 前項に規定する使用料の減免は、次に定めるとおりとする。</p> <p>(1) 下田市が主催し、又は委託する事業で使用するとき。 全額免除</p> <p>(2) 下田市内の保育所、幼稚園又は小中学校が、園児、児童又は生徒の保育若しくは教育のために使用するとき。 全額免除</p> <p>(3) 官公署、公益法人又は報道機関が、公益事業のため入場料を徴収しないで使用するとき。 全額免除</p> <p>(4) 前各号に定めるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。 市長が定める額</p>						
利用料金制度	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>						
施設運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営						
	指定管理者制度	指定管理者					
	一部委託	委託内容					
直接従事職員	下田市職員数 0.033 人工 委託団体職員数 エルダーの会						
9 市内の類似施設	下田市所有	敷根公園、学校屋外体育施設					
	民間所有	なし					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成18年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設年度翌年から償却 ・耐用年数 年
	土地取得費	57,700,000	土地残高			
	建物取得費	21,067,200	建物減価償却後残高	20,224,512		
	財源内訳					
	国・県支出金					
	市債	26,100,000	市債残高	26,100,000		
	一般財源 寄附金等					
物品(*万円以上)			物品減価償却後残高			
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度予算
	収入	総合グラウンド使用料	169,460	222,138	190,052	200,000
	収入合計		169,460	222,138	190,052	200,000
	支出	11節 需用費	337,775	541,632	225,374	231,000
		消耗品費	59,345	145,500	32,548	33,000
		印刷製本費	32,010	7,350	28,000	28,000
		光熱水費	118,030	96,422	125,358	130,000
		燃料費	12,890	10,960	9,543	10,000
		修繕料	115,500	281,400	29,925	30,000
		12節 役務費	48,705	2,096	73,752	75,000
		13節 委託料	1,472,100	706,020	702,450	703,000
	17節 公有財産購入費	0	0	0	0	
	支出 公園整備事業	11節 需用費		0	38,099	0
		12節 役務費	-	12,000	0	0
		13節 委託料	-	672,000	0	0
		15節 工事請負費	-	21,067,200	5,872,650	1,500,000
	支出合計		1,858,580	23,000,948	6,912,325	2,509,000
	減価償却費			421,344	421,344	421,344
	市債利子				395,362	523,476
	事務に係る職員人件費		228,273	231,027	195,004	210,164
下田市負担年間総経費		1,917,393	23,431,181	7,733,983	3,463,984	
備考		人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)				
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度
		利用者数	4,820人	5,760人	4,977人	人
		参考:利用単位当たり市負担額	432.95円	4,033.32円	1,428.03円	円
	休業日	12月29日から1月3日まで				
	使用時間	午前8時30分から午後5時まで				
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算
	利用者数の目標値	人	6,700人	6,700人	6,700人	6,700人
	"の実績	人	4,820人	5,760人	4,977人	
	目標達成度	%	71.94%	85.97%	74.28%	
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
	過去5年間の最高値(H13 6,700人)を目標値として設定。					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標	市民の健康増進とレクリエーションの振興と憩いの場の提供	公園であるため占用使用以外に不特定多数の利用があり施設活用による達成度合いが判断しにくい。			
	代替指標	施設利用者数				

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標		区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
活動指標	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
活動指標	目標指標の考え方						
活動指標	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
活動指標	目標指標の考え方						
活動指標	目標指導	目標値					
		実績値					
		達成度					
活動指標	目標指標の考え方						

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

2 効率性

		区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算	
効率性	施設の総利用者数等			人	4,820人	5,760人	4,977人		
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額		千円	2,087	23,232	7,107	2,719	
	利用単位当たり経費	÷ ×1,000円		円/人	432.99	4,033.33	1,427.97		
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。				申請における利用者数を集計して総利用者数としている。運動公園になり占有以外の使用は自由となったため、占有以外のトイレのみの利用等は含まない。		備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。		H15 公有財産取得費を含む H16 トイレ兼器具庫設計費含む H17 トイレ兼器具庫建設工事費含む H18 防球ネット設置工事費含む	
その他の指標				区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
目標指数	目標指数	目標値							
		実績値							
		達成度							
目標指数の考え方									
目標指数	目標指数	目標値							
		実績値							
		達成度							
目標指数の考え方									
目標指数	目標指数	目標値							
		実績値							
		達成度							
目標指数の考え方									
受益者負担の適正性	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費		円	1,858,580	23,000,948	6,912,325		
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額		円	169,460	222,138	190,052		
	受益者負担比率	÷		%	9.11%	0.96%	2.75%		
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額		円	249,660	321,838	318,552		
	補正受益者負担比率	÷		%	13.43%	1.39%	4.61%		

平成19年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
--------	----------	-------------	----	----

施設の現状分析

判断視点		判断視点項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	概ねされている。 夏季のみ海水浴客の利用が多く利用について検討が必要。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	運動会場の提供及び公園として憩いの場の提供。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	市内に敷根運動公園があり、夏場には海水浴客の使用が大半となることから検討が必要。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画は怎么样了のか	現在運動公園整備期間中で今後は未定。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	電話、ホームページを活用しているが更なる充実が必要。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	競合している（敷根運動公園）
		民間においても十分可能な施設なのか	公園としての機能を備えており、採算性が薄いことから困難と判断する。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	適当と判断するが公園整備終了後の利用形態の変化によっては検討が必要。
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	若干低価格に設定。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いが怎么样了のか	現在施設の整備計画実施中であり本来の機能を果たしていないため不明。
施設の耐用年数は何年有るのか		今後の検討課題。 トイレ兼器具庫は10～15年。	
施設の今後の維持経費の算定はどうか		現在整備計画実施中でありその先は計画未定。	
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	妥当と判断する。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	管理運営形態については整備終了後検討が必要。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	されていない。
		施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか
老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	整備計画実施中であり現在は廃止の案はない。		
地域、民間に譲渡できないのか	採算性が薄く困難。		
その他		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	方法によっては可能。
			敷地内の一部(17,854.82㎡のうち11,902.80㎡)は、平成16年3月に国有財産無償貸付契約により、運動公園としての整備を条件とし、国有地の無償貸付を受けている。 (整備期限は平成20年3月11日)

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立吉佐美運動公園

番号 25

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	採算性が低い施設であるため、運動施設としての目的と公園としての目的の比重によっては妥当。
	受益者負担の妥当性	整備計画の完了後に検討の余地あり。
	実施主体の妥当性	現在直営で、一部業務委託だが、公園整備が完了後は他類似施設を視野に入れた一括管理等の検討を要する。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	公園整備計画を実施している最中につき、現在のところは左記のような方向性はない。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	ホームページ等を活用したPR活動の強化。
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	公園としての機能もあり、不特定多数の利用者を対象とした施設でもあるため、経費面における効率化は困難。 維持管理に関する効率性は検討が必要。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	今後公園整備の進捗と合せて検討。
調査等	アンケート調査等の結果	現在は行っていないため不明。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	整備計画と合せて検討。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	整備計画と合せて検討。

平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	防球ネット設置工事 (L = 100m H = 10m)
見直し事項	<ul style="list-style-type: none"> ・有料公園施設である運動広場の区画を明確にした。 ・有料公園施設区域外への飛球を防止する事で、利便性と安全性が向上した。

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立吉佐美運動公園

番号 25

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	公園整備	1,500千円	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	充実	(具体的な内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率化等による見直し 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	

(具体的な内容)

- ・ 市民の健康保持、レクリエーション活動の増進に、今後も必要不可欠な施設である。
- ・ 平成19年度で公園整備事業が終了するため、今後は、市社会体育推進等の計画の中で施設活用方法の再考を要する。
- ・ 市民のスポーツ志向の高まりに比例し、社会体育施設の必要性もますます高くなると推測されるが、現状で約5,000人/年の利用者数は敷根公園健康広場と比較すると約四分の一の利用に留まっている。
- ・ 類似施設である敷根公園と学校屋外施設と連携した活用方法を図り、収益性の乏しい施設ではあるが、類似施設と一括した管理運営体制についても検討が必要であると考え。